



Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

キャロウェイ
スピードウェーブが2.0に進化し、
さらにパワフルなインパクトが可能に
QUANTUMフェアウェイウッド シリーズ

キャロウェイゴルフ株式会社（東京都港区南青山 社長：庄司明久）は、「QUANTUMフェアウェイウッド シリーズ」を2025年2月6日より、全国のキャロウェイゴルフ取扱店とキャロウェイ オンラインストア(callawaygolf.jp)にて発売いたします。

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズは、打ち出し角と打点位置の最適化をテーマに開発がなされました。もっとも注目すべきは、前作のELYTEで採用された、ソール内部に浮かせて配置するスピードウェーブ構造を、さらに進化させて搭載しているところです。スピードウェーブ2.0と名づけられており、形状を新しくしながら、ネジ止め位置もヘッド後方に配置しています。結果、フェース下部でのインパクト時でもたわみ量が増大し、ボールスピードのロスを最小限に抑制。高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現しています。ネック部では、ロフト角とライ角の組み合わせのバリエーションが多い最新のアジャスタブルホーゼル「オプティフィット4」を初めて装備。ゴルファー一人ひとりの要望に合わせて、より細かく弾道を調整することもできるようになりました。加えて、以前にも増して抜けが良くなったステップ・ソールデザインや、コントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果も大きく高まったAIによるフェース設計も導入されているなど、あらゆる方面で完成度が高まっています。ラインアップは、「QUANTUM MAXフェアウェイウッド」「QUANTUM MAX Dフェアウェイウッド」「QUANTUM MAX FASTフェアウェイウッド」「QUANTUM ◆◆◆フェアウェイウッド」の計4種類です。

QUANTUM (クアンタム) フェアウェイウッドシリーズ

QUANTUM FAIRWAYS



QUANTUM MAXフェアウェイウッド



QUANTUM MAX Dフェアウェイウッド



QUANTUM MAX FASTフェアウェイウッド



CALLAWAY SELECTED
STORE 限定製品

QUANTUM ◆◆◆フェアウェイウッド



ボール初速、操作性、抜けの良さ 幅広い進化で高まった完成度

QUANTUM MAX (クアンタム マックス) フェアウェイウッド

2026年2月6日発売予定

第2世代に進化したスピードウェーブ

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおいて着目されたのが、前作のELYTE シリーズからヘッド内部に搭載されているスピードウェーブで、今回、スピードウェーブ 2.0へと進化しました。新たにトゥ・ヒール方向の幅を狭くし、後方に長く伸ばすことで、その分、ねじ止めの位置を後方に配置。また、前端はフェースの裏面ギリギリまで前進させ、ソール内面から浮かせている高さも、可能な限り低く設計されました。これらによって、フェースカップ下部のヒンジ部分（L字に折れ曲がった部分）の長さを延ばすことが可能となり、フェース下部でのインパクト時でも、たわみ量を増大し、ボールスピードのロスを最小限に抑制。高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現しています。また、浅重心設計により、インパクトでのヘッドコントロールもしやすくなっています。

ロフト・ライ角の設定が多いオプティフィット4を搭載

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおける前作からの大きな変化は、ホーゼル部分にもあります。今回から、ELYTEのユーティリティで初採用となったオプティフィット4と呼ばれるアジャスタブルホーゼルが搭載されました。従来のアジャスタブルホーゼルよりも、ロフト角とライ角の設定バリエーションが増えているもので、各々のゴルファーごとに好みの弾道を得られやすくするだけでなく、番手間の飛距離のギャップを、より適正なものに調整できるようになりました。

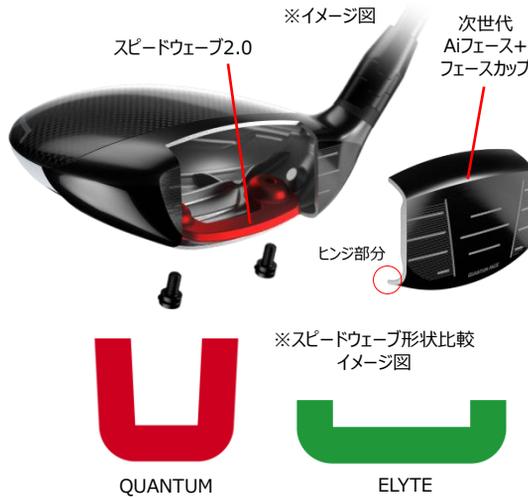
(※従来のアジャスタブルホーゼル付きシャフトは互換性が無く、使用できません)

ステップ・ソールデザインが三角型に

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズでは、ELYTEのフェアウェイウッドシリーズで登場したステップ・ソールデザインがブラッシュアップされて搭載されています。前作では、ステップの中央部分が台形型でしたが、今回は三角型に。アドレス時のヘッドの安定感は一層アップし、ソールの抜けの良さがアップしています。

キャロウェイが培ってきたAI設計も継続導入

フェースには、キャロウェイが長年培ってきたAI設計（モデル・番手別専用設計）が導入されています。多くのゴルファーのリアルなスイングデータ、弾道データをインプットしながらAIが設計しているものです。今回は、コントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになっており、打点ごとに打ち出し角やスピニングなどを最適化しつつ、安定したボールスピードを実現。より遠くの狭い着弾範囲へとボールを運んでくれます。



QUANTUMのスピードウェーブ2.0とELYTEシリーズのタングステン・スピードウェーブを上から見たときの形状のイメージ。スピードウェーブ2.0は、幅を狭く、前後長を長くしている。これによりピスで留める場所をフェース面から遠くに離すことができ、その分、フェースカップ下部の折れ曲がった部分を長くすることが可能に



ステップ・ソールデザインは、ELYTEの台形から三角型に

ELYTEフェアウェイウッドから引き継いだ、丸いヘッド形状

さまざまなセッティングに対応する7種類の番手

シリーズにおいてスタンダードモデルの立ち位置となるのが、「QUANTUM MAX フェアウェイウッド」です。ヘッドは、キャロウェイらしい丸いフォルムで、前作のELYTEフェアウェイウッドから形状を引き継いでいます。番手はW#3、W#3HL、W#5、W#7、Heaven、W#9、W#11の7種類を用意し、オプティフィット4ホーゼルはW#3、W#3HL、W#5に採用。クラウンは、W#3からHeavenまではカーボン素材で、以降はステンレススチール製となっています。

豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりなクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。ラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAXとSPDSTAR、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM MAXフェアウェイウッド」では、そのうちのATHLEMAX 50とTENSEI GRAY 60の2種類が採用されています。



芝の上から、さらにやさしく高弾道 ヘッド体積はシリーズで最大に

QUANTUM MAX D (クアンタム マックス D) フェアウェイウッド

2026年2月6日発売予定

第2世代に進化したスピードウェーブ

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおいて着目されたのが、前作のELYTE シリーズからヘッド内部に搭載されているスピードウェーブで、今回、スピードウェーブ 2.0へと進化しました。新たにトゥ・ヒール方向の幅を狭くし、後方に長く伸ばすことで、その分、ねじ止めの位置を後方に配置。また、前端はフェースの裏面ギリギリまで前進させ、ソール内面から浮かせている高さも、可能な限り低く設計されました。これらによって、フェースカップ下部のヒンジ部分（L字に折れ曲がった部分）の長さを延ばすことが可能となり、フェース下部でのインパクト時でも、たわみ量を増大し、ボールスピードのロスを最小限に抑制。高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現しています。また、浅重心設計により、インパクトでのヘッドコントロールもしやすくなっています。

ロフト・ライ角の設定が多いオプティフィット4を搭載

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおける前作からの大きな変化は、ホーゼル部分にもあります。今回から、ELYTEのユーティリティで初採用となったオプティフィット4と呼ばれるアジャスタブルホーゼルが搭載されました。従来のアジャスタブルホーゼルよりも、ロフト角とライ角の設定バリエーションが増えているもので、各々のゴルファーごとに好みの弾道を得られやすくなるだけでなく、番手間の飛距離のギャップを、より適正なものに調整できるようになりました。

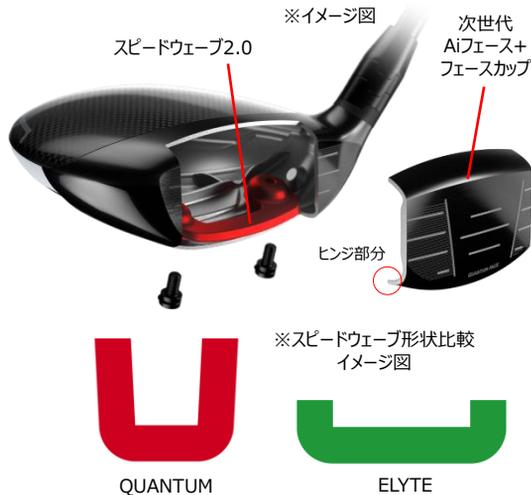
（※従来のアジャスタブルホーゼル付きシャフトは互換性が無く、使用できません）

ステップ・ソールデザインが三角型に

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズでは、ELYTEのフェアウェイウッドシリーズで登場したステップ・ソールデザインがブラッシュアップされて搭載されています。前作では、ステップの中央部分が台形型でしたが、今回は三角型に。アドレス時のヘッドの安定感は一層アップし、よりソールの抜けの良さがアップしています。

キャロウェイが培ってきたAI設計も継続導入

フェースには、キャロウェイが長年培ってきたAI設計（モデル・番手別専用設計）が導入されています。多くのゴルファーのリアルなスイングデータ、弾道データをインプットしながらAIが設計しているものです。今回は、コントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになっており、打点ごとに打ち出し角やスピン量などを最適化しつつ、安定したボールスピードを実現。より遠くの狭い着弾範囲へとボールを運んでくれます。



QUANTUMのスピードウェーブ2.0とELYTEシリーズのタングステン・スピードウェーブを上から見たときの形状のイメージ。スピードウェーブ2.0は、幅を狭く、前後長を長くしている。これによりピスで留める場所をフェース面から遠くに離すことができ、その分、フェースカップ下部の折れ曲がった部分を長くすることが可能に



ステップ・ソールデザインは、ELYTEの台形から三角型に

QUANTUM MAX Dフェアウェイウッドのヘッド体積は、シリーズで最大

理想の高弾道ドローをやさしいヘッド形状で

「QUANTUM MAX Dフェアウェイウッド」は、高弾道ドローをやさしく打っていきけるモデルです。ヘッドは前後長がやや長めでドローバイアスの特性となっており、シリーズのなかでもっとも体積が大きく、フェースもややディープに仕上げられています。番手はW#3、W#3HL、W#5、W#7の4種類を用意し、オプティフィット4ホーゼルはW#3、W#3HL、W#5に採用。W#3、W3HL、W#5、W#7全てにカーボンク라운が採用されています。

豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりのクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。ラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAXとSPDSTAR、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM MAX Dフェアウェイウッド」では、ATHLEMAX 50を採用しています。



Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

シャープにスイングできる軽さに加え、
シャローでハイロフトな設計にも注目

QUANTUM MAX FAST (クアンタム マックス ファスト) フェアウェイウッド

2026年2月6日発売予定

第2世代に進化したスピードウェーブ

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおいて着目されたのが、前作のELYTEシリーズからヘッド内部に搭載されているスピードウェーブで、今回、スピードウェーブ2.0へと進化しました。新たにトゥ・ヒール方向の幅を狭くし、後方に長く伸ばすことで、その分、ねじ止めの位置を後方に配置。また、前端はフェースの裏面ギリギリまで前進させ、ソール内面から浮かせている高さも、可能な限り低く設計されました。これらによって、フェース下部のヒンジ部分（L字に折れ曲がった部分）の長さを延ばすことが可能となり、フェース下部でのインパクト時でも、たわみ量を増大し、ボールスピードのロスを最小限に抑制。高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現しています。また、浅重心設計により、インパクトでのヘッドコントロールもしやすくなっています。

ロフト・ライ角の設定が多いオプティフィット4を搭載

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおける前作からの大きな変化は、ホーゼル部分にもあります。今回から、ELYTEのユーティリティで初採用となったオプティフィット4と呼ばれるアジャスタブルホーゼルが搭載されました。従来のアジャスタブルホーゼルよりも、ロフト角とライ角の設定バリエーションが増えているもので、各々のゴルファーごとに好みの弾道を得られやすくなるだけでなく、番手間の飛距離のギャップを、より適正なものに調整できるようになりました。

（※従来のアジャスタブルホーゼル付きシャフトは互換性が無く、使用できません）

ステップ・ソールデザインが三角型に

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズでは、ELYTEのフェアウェイウッドシリーズで登場したステップ・ソールデザインがブラッシュアップされて搭載されています。前作では、ステップの中央部分が台形型でしたが、今回は三角型に。アドレス時のヘッドの安定感はキープしつつ、よりソールの抜けの良さがアップしています。

キャロウェイが培ってきたAI設計も継続導入

フェースには、キャロウェイが長年培ってきたAI設計（モデル・番手別専用設計）が導入されています。多くのゴルファーのリアルなスイングデータ、弾道データをインプットしながらAIが設計しているものです。今回は、コントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになっており、打点ごとに打ち出し角やスピン量などを最適化しつつ、安定したボールスピードを実現。より遠くの狭い着弾範囲へとボールを運んでくれます。

ステップ・ソールデザインは、ELYTEの台形から三角型に



フェースのトゥとヒールの下部が箱型になったことにより、アドレス時にはフェース面が大きく見える



QUANTUMのスピードウェーブ2.0とELYTEシリーズのタングステン・スピードウェーブを上から見たときの形状のイメージ。スピードウェーブ2.0は、幅を狭くし、前後長を長くしている。これによりビスで留める場所をフェース面から遠くに離すことができ、その分、フェース下部の折れ曲がった部分を長くすることが可能に

トゥとヒールの下部がボリュームアップ

「QUANTUM MAX FASTフェアウェイウッド」は、シリーズでもっとも軽量で、高弾道ドローをやすく打っていただけるモデルです。ヘッドは前後長が長めで、ドローバイアス。ELYTE MAX FASTフェアウェイウッドと比較すると、フェースがさらにシャローで、トゥとヒールの下部が少し箱型の形状になったことでボリュームもアップしています。アドレス時にフェース面が広く見え、ボールが簡単に拾えそうな安心感があります。番手はW#3、W#5、W#7、W#9の4種類を用意し、オプティフィット4はW#3、W#5に採用。クラウンはW#3からW#7まではカーボンで、W#9はステンレススチール製です。特徴的なのはロフト設定で、W#3においては16度という具合に、ボールの上がりやすさを重視したものとなっています。

豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりなクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。ラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAXとSPDSTAR、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM MAX FASTフェアウェイウッド」では、軽量のSPDSTAR 40を採用しています。



Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

より気持ちを大胆にさせる、 磨き抜かれたツアーモデル

QUANTUM ◆◆◆ (クアンタム トリプルダイヤモンド) フェアウェイウッド

2026年2月6日発売予定

CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

第2世代に進化したスピードウェーブ

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおいて着目されたのが、前作のELYTE シリーズからヘッド内部に搭載されているスピードウェーブで、今回、スピードウェーブ 2.0へと進化しました。新たにトゥ・ヒール方向の幅を狭くし、後方に長く伸ばすことで、その分、ねじ止めの位置を後方に配置。また、前端はフェースの裏面ギリギリまで前進させ、ソール内面から浮かせている高さも、可能な限り低く設計されました。これらによって、フェース下部のヒンジ部分（L字に折れ曲がった部分）の長さを延ばすことが可能となり、フェース下部でのインパクト時でも、たわみ量を増大し、ボールスピードのロスを最小限に抑制。高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現しています。また、浅重心設計により、インパクトでのヘッドコントロールもしやすくなっています。

ロフト・ライ角の設定が多いオプティフィット4を搭載

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズにおける前作からの大きな変化は、ホーゼル部分にもあります。今回から、ELYTEのユーティリティで初採用となったオプティフィット4と呼ばれるアジャスタブルホーゼルが搭載されました。従来のアジャスタブルホーゼルよりも、ロフト角とライ角の設定バリエーションが増えているもので、各々のゴルファーごとに好みの弾道を得られやすくするだけでなく、番手間の飛距離のギャップを、より適正なものに調整できるようになりました。

(※従来のアジャスタブルホーゼル付きシャフトは互換性が無く、使用できません)

ステップ・ソールデザインが三角型に

「QUANTUM」のフェアウェイウッド シリーズでは、ELYTEのフェアウェイウッドシリーズで登場したステップ・ソールデザインがブラッシュアップされて搭載されています。前作では、ステップの中央部分が台形型でしたが、今回は三角型に。アドレス時のヘッドの安定感はキープしつつ、よりソールの抜けの良さがアップしています。

キャロウェイが培ってきたAI設計も継続導入

フェースには、キャロウェイが長年培ってきたAI設計（モデル・番手別専用設計）が導入されています。多くのゴルファーのリアルなスイングデータ、弾道データをインプットしながらAIが設計しているものです。今回は、コントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになっており、打点ごとに打ち出し角やスピン量などを最適化しつつ、安定したボールスピードを実現。より遠くの狭い着弾範囲へとボールを運んでくれます。

ステップ・ソールデザインは、ELYTEの台形から三角型に。また、前方にはシリーズで唯一、スクリュー・ウェイトも搭載



プロ、上級者が好む洋ナシ型で小ぶりなヘッド



QUANTUMのスピードウェーブ2.0とELYTEシリーズのタングステン・スピードウェーブを上から見たときの形状のイメージ。スピードウェーブ2.0は、幅を狭くし、前後長を長くしている。これによりピスで留める場所をフェース面から遠くに離すことができ、その分、フェース下部の折れ曲がった部分を長くすることが可能に

ソール前方に約7gのスクリュー・ウェイト

シリーズ中、プロ、上級者向けモデルとなっているのが、「QUANTUM ◆◆◆フェアウェイウッド」です。ヘッドはコンパクトな洋ナシ型で、前作のELYTE ◆◆◆フェアウェイウッドの形状を引き継いでいます。シリーズのなかで唯一、ソール前方に約7gのスクリュー・ウェイトを搭載。番手はW#3、W#5、W#7の3種類。オプティフィット4ホーゼルはW#3、W#5に採用。カーボンクラウンを採用したヘッド構造です。

豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりなクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。ラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAXとSPDSTAR、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM ◆◆◆フェアウェイウッド」では、元調子に近い特性を持つTENSEI GRAY 60が用意されています。



Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

【QUANTUM MAXフェアウェイウッド スペック】

番手	W#3	W#3HL	W#5	W#7	Heaven	W#9	W#11
フェース素材 / 構造	マレージング鋼C300 / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカップ		カーペンター455スチール / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカップ			17-4 ステンレススチール / 次世代Aiフェース / 鑄造フェース	
ボディ素材	17-4 ステンレススチール+トライアクシャル・カーボンクラウン+スピードウェブ2.0					17-4 ステンレススチール	
クラブ長さ (インチ)	43.0	43.0	42.5	42.0	42.75	41.5	41.0
ヘッド体積 (cm ³)	162	162	142	135	153	129	120
ロフト角 (°)	15.0	16.5	18.0	21.0	20.0	24.0	27.0
ライ角 (°)	59.5	59.5	60.0	60.5	60.0	61.5	62.5

シャフト名 (硬さ)		[A](S)	[A](SR)	[A](R)	[B](S)
ラインアップ	W#3	○ <input type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>
	W#3HL	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>	○ <input type="radio"/>	□ <input type="checkbox"/>
	W#5	○ <input type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>
	W#7	○ <input checked="" type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>	○ <input checked="" type="radio"/>	□ <input checked="" type="checkbox"/>
	Heaven	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>
	W#9	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>
	W#11	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>	□ <input type="checkbox"/>
バランス		D0.5			D2
クラブ重さ (W#3)		約315g	約314g	約312g	約324g
シャフト重さ		約55.0g	約54.0g	約52.0g	約63.5g
シャフトトルク		4.9			4.4
シャフト調子		中調子			

[A]ATHLEMAX 50(S, SR, R)
¥67,100 (税抜価格¥61,000)



[B]TENSEI GRAY 60 for Callaway(S)
¥67,100 (税抜価格¥61,000)



○ : 通常在庫 □ : 受注生産 ⊙ : 左用モデル通常在庫 ◐ : 左用モデル受注生産
* ATHLEMAX 50, TENSEI GRAY 60 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。
* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し
[A][B]シャフト装着 : 約46g,口径60





Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

【QUANTUM MAX Dフェアウェイウッド スペック】

番手	W#3	W#3HL	W#5	W#7
フェース素材 / 構造	マレージング鋼C300 / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカップ		カーベンター455スチール / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカップ	
ボディ素材	17-4 ステンレススチール+トライアクシャル・カーボンクラウン+スピードウェーブ2.0			
クラブ長さ (インチ)	43.0	43.0	42.5	42.0
ヘッド体積 (cm ³)	184	184	163	158
ロフト角 (°)	15.0	16.5	18.0	21.0
ライ角 (°)	60.5	60.5	61.0	61.5

シャフト名 (硬さ)		[A](S)	[A](SR)	[A](R)
ラインアップ	W#3	○■	○■	○■
	W#3HL	□	□	□
	W#5	○■	○■	○■
	W#7	○	○	○
バランス		D1		
クラブ重さ (W#3)		約318g	約316g	約315g
シャフト重さ		約55.0g	約54.0g	約52.0g
シャフトトルク		4.9		
シャフト調子		中調子		

[A]ATHLEMAX 50(S, SR, R)
¥67,100 (税抜価格¥61,000)



○ : 通常在庫 □ : 受注生産 ■ : 左用モデル受注生産

* ATHLEMAX 50は、シャフトカット前の値になります。

* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し



[A]シャフト装着 : 約46g,口径60



Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

【QUANTUM MAX FASTフェアウェイウッド スペック】

番手	W#3	W#5	W#7	W#9
フェース素材 / 構造	カーバンター455スチール / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカップ			17-4 ステンレススチール / 次世代Aiフェース / 鋳造フェース
ボディ素材	17-4 ステンレススチール+トライアクシャル・カーボンクラウン+スピードウエーブ2.0			17-4 ステンレススチール
クラブ長さ (インチ)	43.5	43.0	42.5	42.0
ヘッド体積 (cm ³)	164	143	139	132
ロフト角 (°)	16.0	19.0	22.0	25.0
ライ角 (°)	60.5	61.0	61.5	62.0

シャフト名 (硬さ)		[A](S)	[A](SR)	[A](R)
ラインアップ	W#3	○	○	○
	W#5	○	○	○
	W#7	□	○	○
	W#9	□	□	□
バランス		D0		
クラブ重さ (W#3)		約300g	約298g	約297g
シャフト重さ		約50.0g	約48.0g	約46.0g
シャフトトルク		5.4	5.5	6.0
シャフト調子		中調子		

[A]SPDSTAR 40(S, SR, R)
¥67,100 (税抜価格¥61,000)



○：通常在庫 □：受注生産 * 左用モデルの設定はありません
* SPDSTAR 40は、シャフトカット前の値になります。
* Assembled in China / Japan ヘッドカバー：Made in China / Vietnam

GRIP：GOLF PRIDE J200 ブラック/シルバー バックライン無し
[A]シャフト装着：約41g,口径60





Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

【QUANTUM ◆◆◆フェアウェイウッド スペック】

CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

番手	W#3	W#5	W#7
フェース素材 / 構造	マレージング鋼C300 / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカップ		
ボディ素材	17-4 ステンレススチール+トライアクシャル・カーボンクラウン+スピードウェーブ2.0+スクリューウェイト約7g		
クラブ長さ (インチ)	43.0	42.5	42.0
ヘッド体積 (cm ³)	170	149	142
ロフト角 (°)	15.0	18.0	21.0
ライ角 (°)	57.5	58.0	58.5

シャフト名 (硬さ)		[A](S)
ラインアップ	W#3	○■
	W#5	○■
	W#7	□
バランス		D2.5
クラブ重さ (W#3)		約325g
シャフト重さ		約63.5g
シャフトトルク		4.4
シャフト調子		中調子

[A]TENSEI GRAY 60 for Callaway(S)
¥69,300 (税抜価格¥63,000)



○ : 通常在庫 □ : 受注生産 ■ : 左用モデル受注生産
* TENSEI GRAY 60 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。
* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し
[A]シャフト装着 : 約46g,口径60

